

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 ほ〜だ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5人	1人	現在の利用人数では問題ないが、利用者が増えた場合の事も考えていけないといけない
	2 職員の配置数は適切である	2人	4人	現状ギリギリなので、適切な配置を行えるようにしていく
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2人	4人	移転等を検討している
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4人	2人	スペースとしてはあまり広くはないが、常に清潔な空間になるように心がけています
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4人	2人	言語化、見える化を行い、PDCAサイクルを回せるようにしていく
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5人	1人	意見の参考にしていきたい
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4人	1人	ホームページで公開している
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3人	3人	今後改善する予定です
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6人	0人	職員不足やコロナ禍という事で中々機会を作れないが、今後改善していきたい
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6人	0人	保護者中心のアセスメントから利用者中心のアセスメントにシフトして作成していきたい
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4人	2人	標準化されたツールは使用していないが、個々に合わせたツールを活用していきたい
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4人	1人	アセスメントや情報の共有を行い、適切な支援計画を作成できるようにしていきます
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5人	0人	適切な支援が行えるように努めていきます
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5人	1人	チーム単位では出来ていないが、今後改善していきたい
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6人	0人	曜日毎にある程度決まっているが、利用者に合わせた支援を適時行っていきたい
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5人	0人	基本は集団活動に近いが、利用者によっては個別の活動を設定していきたい
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5人	1人	ミーティングを行う時間を作って支援内容の確認を行っています
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5人	1人	翌日のミーティングの時間を活用して振り返りを行っています

適切な支援の提供	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6人	0人	記録を付けて日々の現状を把握する事から、モニタリング、支援計画の更新に繋げていきます
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5人	1人	長くても6か月以内にはモニタリングを行います
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6人	0人	児童発達支援管理責任者が出席するようにしています
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2人	3人	現在児発の利用は無いが、今後利用があった場合の為にすすめていきます
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2人	4人	現在児発の利用は無いが、今後利用があった場合の為にすすめていきます
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2人	4人	現状受け入れはありませんが、受け入れ可能な体制を整えていきます
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4人	1人	現在は行っていないが、連絡があった場合は都度情報共有できるようにします
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5人	1人	現在は行っていないが、連絡があった場合は都度情報共有できるようにします
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3人	3人	現在はあまりないが、今後検討していきます
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0人	6人	コロナ禍で現在はありますが、今後検討していきます
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0人	6人	今後検討していきます
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6人	0人	連絡、相談を密に行い、個別支援計画を踏まえて情報共有を行っています
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2人	4人	連絡、相談には適宜対応していきます
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6人	0人	契約時になるべく不備が無いように説明を行っています。不明な事があつたらその都度説明致します
	保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6人	0人
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6人	0人	連絡、相談には適宜対応していきます
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0人	6人	現在父母の会はありますが、要望があれば検討します
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応している	6人	0人	苦情、ご意見には真摯に対応し、可能な限りお互い納得出来る解決策を出せるようにしています
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5人	1人	年に数回季節毎に会報を出せるような体制を整えていきます
38		個人情報の取扱いに十分注意している	6人	0人	個人情報の取り扱いには細心の注意を払っています

保護者への説明責任等	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6人	0人	常に細心の注意を払っています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0人	6人	コロナ禍で現在はありませんが、今後検討していきます
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4人	2人	マニュアルの整備、周知、徹底をすすめていきます
	42	非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っている	5人	1人	消防署見学にて避難訓練を行っています
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5人	1人	各家庭と情報の共有を行い、不備のないようにしていきます
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4人	2人	現在アレルギーのある利用者はいませんが、今後利用があった場合は、その都度対応します
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4人	2人	ミーティングノートでの情報共有をしているが、今後さらに整備していきます
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5人	1人	虐待防止研修に参加し、伝達研修も含めて意識改革を行っています
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4人	2人	現状身体拘束は行っていません